



本郷人間塾 アドバンスドコース マインドセットシート

本郷人間塾・副塾長/幹事長の芦屋広太は財閥系大手金融機関で20年以上仕事を行い、10年前からは教育コンサルタントとしてダブルキャリア（2足のわらじ）を続けています。これまでに、雑誌記事・連載数100本以上、書籍80冊以上（amazonで買えるものだけで60冊）を書き、コラムニスト、ビジネスプランナーとしても活動し、この経験から導かれた「成功する人になるためのマインドセット」を20の格言にまとめました。ここで書いていることは、「簡単」で「あたりまえ」で「面白さ」も「新奇性」もないと思う方が多いと思いますが、多くの人がこの「あたりまえ」で「面白くない」ことがまったくできていません。これらを愚直に実施できるか、馬鹿にして放置するかが、成功人材と失敗人材の分かれ道なのです。

- ①「自分は恵まれていない」、「周りが悪い」などと文句や不満を言うてはいけない。誰かが良くしてくれることなどありえない。何かを感じ自ら変えていかなくてはならない。
- ②人脈は重要である。人脈を作りたいなら自分は何をしたいのかを優秀な人に話す。話す際には「自分に何ができるか」、「何をやってきたか」をエビデンス（証拠）をもって伝える。
- ③仕事では熱意が必要であるが、説得力のない熱意はかえって馬鹿に見える。
- ④優秀な人・影響力を持つ人を探して、関心が持たれる、感心されるエピソードを話す。
- ⑤常に自分の考えを持つ。内容は自己満足の小さいことではなく、広く社会で有用なことのほうがよい。表面的でない具体的な考えを常に持ち続けよう。
- ⑥人の使える時間は限られる。同じ時間を使うならビジネススキル向上や金儲けにつながるものに使え。
- ⑦早いうちに何かの達人になる。対象は金にならないものよりも金になるもののほうがよい。
- ⑧他人に教えてもらうことを嫌がるな。ただし、教えてもらう人は選べ。頓珍漢な人に教えられると自分も頓珍漢になる。
- ⑨「自分の能力が高い」と思ったら成長が止まる。常に自分より優秀な人を探して叩きのめされろ。
- ⑩業績自体をアピールするより、業績を向上させたプロセスを分析して再現性を持たせろ。
- ⑪業績自体をアピールするより、その業績を使って次はどのようにビジネスを成功させるのかを考えろ。
- ⑫使える時間は限られる。ある会社でしか通用しないスキルよりも広く社会で通用するスキルを習得しろ。
- ⑬酷い境遇でもふて腐れるな。その境遇に「はまった」理由とそこから抜け出す方法を客観的に考えろ。
- ⑭入社初日、転勤初日、最初から勝負は始まっている。早く成果を出せば後が楽になる。
- ⑮自信過剰ほど危険なものはないが、自信はもて。ただし謙虚さが大事。
- ⑯主張には理由を。したいことを話すなら、なぜしたいかを必ず一緒に。
- ⑰具体的に話しをしろ。一般論なら話さないほうがマシ。
- ⑱駄目な人間同士で話をするな。成功を経験した人の話をたくさん聞け。ただし年が離れた人とは成功できた時代が違うので参考にならないこともある。
- ⑳会社の中の間人間関係に一喜一憂するな。外の人とつき合え。社会全体を見た議論をしろ。
- ㉑環境のせいにするな。自分が成長する活動をしていればいつの時代でもかならず社会から選ばれ、生活も豊かになる。

本郷人間塾・アドバンスドコースではこれらの20項目の具体的な勉強ができます。



ningenjuku.jp